



11/11 選筆訓練 11/14 全型幾害訓練

新型コロナウィルスの感染防止の為 男女別に訓練を行ないました。利用者 様は慌てることなく落ち着いて避難す る事が出来ました。土砂災害訓練では 二階への垂直避難を行いました。利用 者様の訓練終了後、職員が集まって警 報盤や非常通報装置の取扱いについて 確認し、緊急時にいかせるよう注意点 などを話し合いました。(寺嶋)





हित्रभाक्षाहित

善意の気持ち

- ▶ 小田原市社会福祉協議会 様より お米
- ▶ 神野 文世 様より 寄付金
- ▶ 鈴廣かまぼこ株式会社様よりかまぼこ等
- ▶ 小川 博 様 久保寺 莞治様より 柿
- ▶ 県立おだわら諏訪の原公園 様より キウイフルーツ・みかん











役員 会等開催報告

竹の子 学園

竹の子学園では、

ル一階にて開催されました。 年十二月八日、 令 和四年度第三回理事会】 竹の子学園ヴィーホ が令和 兀

づけや草むしり等の補助業務、 相手やレクリエーションの補助、

ております。新型コロナウィルス流行前は、

及び 承認されました。 する細則の変更について_ た。続いて議案「表彰に関 について」報告がありまし まず、 「令和四年度体制変更 「就労準備支援事業入札辞退 (藤澤)



県立障害者支援施設 コンサルテーション等事業

でやむを得ず、ボランティアの受け入れを

新型コロナウィルス流行により、これま

控えさせていただいておりました。現在も、

でき、暮らしを豊かなものにしてくださっ びに地域の方との交流の充実を図ることが ご協力を賜りました。施設利用者の生活並 ボランティアの皆様には、様々な活動への

りがいを持って活動できるようにして参り

ています。大変感謝しております。

現のため、 たしました。 ピアサポーターフレンズも みに着手されており、 援施設コンサルテーション」に参加い 「ともに生きる社会かながわ憲章」 神奈川県では様々な取り組 その一環として、 「障害者支 実

的としています。 らと思います。 今後の取り組みに反映していただけた される施設運営を実現する」ことを目 上を図り、 の言葉には当事者としての重みがあり、 よる施設巡回等を通して支援の質の向 この事業は 利用者及びその家族に信頼 「外部の障がい当事者に 参加されたメンバー

(美濃島)

ボランティア受 け λ れについ 7

のレクチャー・披露などの活動をお願いし ていただいている方に、施設利用者の話し ボランティア登録をし 音楽や手芸 部屋の片 難な状況ではありますが、 満足に機能することはできません。 ボランティアの皆様の支えなしでは 人と人が直接つながりを持つのが困 施設は、

ボランティアの皆様が安心して、 園ボランティア受入規程」を見直し、 してまいります。また、 ランティアの皆様の受け入れを再開 今後、 十分な感染対策をとり、 「竹の子学

ている方はもちろん、ご興味のある方、 すでにボランティア登録をしてくださっ 是

非お気軽にご連絡ください。 事 業 (佐藤)

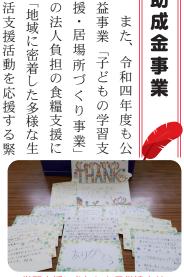
ハ KK 根 共 同 募 金 助 成 金

赤

きます。 募金 朽化した設備による、誤報から により、 発生したため、これで利用者様 夜間の消防署自動通報・出動も 灯の交換工事を行いました。老 安眠と災害時の安全を確保で 令和三年度分 (赤い羽根)」 消防設備・非常用誘導 「神奈川県共同 助成金の受配

急配分事業





益事業

また、

法 学習支援に参加した子供達より パン工房ハッピーへのお礼の手紙

人内「パン工房ハッピー」のパンを子どもたち に提供する活動を続けています。 (前期)」から助成金を受けて、 (書場

瀬戸 久美子 (非常勤職員

退 職 職 員

孝二 (非常勤職員)

研 修 につい 7

法人内では、様々な研修を実施しています。

bora@takenokogakuen.jr

中 級 十月二十六日

- ・他事業所との連携について
- 意思決定支援を意識した記録

管理職 十二月十四 日

- ・他事業所との連携 人材育成マネジメント
- 育児休業法等改正について
- 法人内新人研修 十一月十日

十二月二十日

法人全体職員研修·役員研修 月十八日

成年後見制度について

新

職

員

紹

介

片出 久美子 (常勤職員

していきたいと思います。まだ しくお願いします わからない事ばかりですがよろ 楽しい毎日が送れるよう支援を

澤田